

2015年度 第19期女性学講演会 第2部（第2回）

文学とジェンダー —文学における危険な女性たち—

日時：2015年12月26日(土) 午後2時～午後5時

会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟 106会議室

2時～3時

母と娘 —フローベールのサロメ像と神話の変遷

大鐘 敦子（関東学院大学教授）

サロメは洗礼者ヨハネの首を斬らせた「危険な女」とみなされてきました。ワイルドの演劇やオペラで知られる「サロメのダンス」。しかしフランスで最初にサロメのダンスを描いたのはフローベールの短編『ヘロディアス』においてでした。そのダンスとはどのようなものだったのでしょうか。19世紀末のサロメ像および中世からのサロメ神話の変遷を見ていきたいと思ひます。



3時15分～4時15分

危険な「ヴィーナス」—ゾラの娼婦像と絵画

村田 京子（大阪府立大学教授）

ゾラの『ナナ』は、19世紀後半のフランスにおける娼婦像を描いた代表的な小説です。ゾラは「椿姫」のような感傷的な娼婦像ではなく、「ありのままの娼婦」を描こうとしました。ナナは社会の解体をもたらす「危険な女」として登場しますが、その危険性をマネなど同時代の画家の絵画と関連させながら探っていきたいと思ひます。



4時30分～5時 講演者との質疑応答

対象：どなたでも

参加費：500円（大阪府立大学 学生・教職員は無料）

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、電話番号を記して、EメールまたはFAXでお申し込みください。

*お申し込みの際の個人情報、応募後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

申込先：大阪府立大学女性学研究センター

Eメール：joseigaku@gmail.com FAX：072-254-9947

*当日参加も可能ですが、資料準備の都合上、できるだけ事前にお申し込みください。

問合せ先：大阪府立大学女性学研究センター TEL：072-254-9948（土日・祝日を除く、午後2時～午後5時）

会場：大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス B3棟 106会議室（交通アクセスは裏面をご参照ください。）

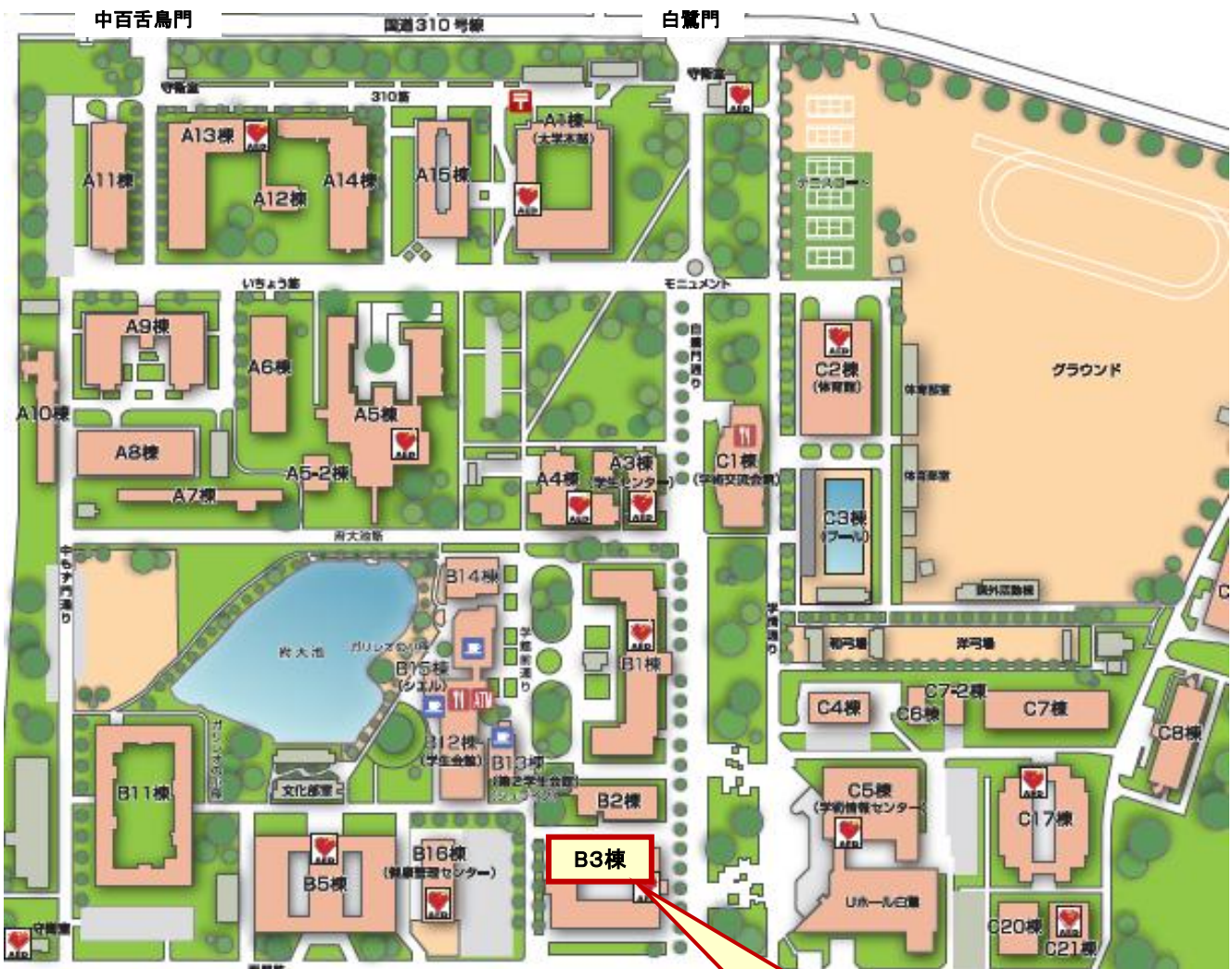
■大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス



■中百舌鳥キャンパスへのアクセス

- 南海高野線「白鷺」駅下車、
南西へ約 500m
- 南海高野線「中百舌鳥」駅下車、
南東へ約 1,000m
- 地下鉄御堂筋線「なかもず」駅
(5号出口)から南東へ約 1,000m

■中百舌鳥キャンパスマップ



女性学講演会 会場